

12/25 (水) の発表



報道発表資料の配付日時 12月25日(水) 10時00分

| | | | |
|------------------|--|------|--|
| 発表項目 (行事名) | <行く年来る年> 日高管内における「2024年を振り返って」及び「2025年に予想される主な動き」について | | |
| 記者レクチャー のお知らせ | (実施日時) | 発表者 | |
| | | 発表場所 | |
| 概要 | 日高管内における2024年に取り組んだ主な事項及び2025年に予想される主な取組事項について、別添資料のとおりとりまとめましたので、お知らせします。 | | |
| 参考 | | | |

| | | | |
|-----------------|--------------|------|--|
| 報道(取材)に当たってのお願い | | | |
| 他のクラブとの関係 | 同時配付 同時レク | (場所) | |

| | |
|-------------|---|
| 担当 (連絡先) | 日高振興局地域創生部地域政策課 地域政策課長 井神 淳 (電話: 0146-22-9070) |
|-------------|---|

～2024 年を振り返って～

| | |
|--|---|
| <p>■日高管内町長選挙結果 [6月]</p> | <p>地域政策課</p> |
| <p>平取町長の任期満了に伴う選挙が、令和6年(2024年)6月11日に告示され、1人が立候補し、無投票だった。</p> | |
| <p>選挙期日 令和6年(2024年)6月16日</p> | <p>候補者名 遠藤 桂一</p> <p>選挙結果 無投票(当選)</p> |

| | |
|--|--------------|
| <p>■「国内最大のナショナルパーク誕生を契機とした日高振興局における取組」の発表 [6月～]</p> | <p>地域政策課</p> |
| <p>日高山脈襟裳十勝国立公園の誕生や令和7(2025)年度の日高自動車道新冠 IC 開通を控え、この2年間で集中対策期間と位置づけ、日高の魅力を世界に発信し、誘客の促進や自然保護、受入環境の整備など、地域活性化に資する施策を総合的に実施するための振興局の取組を発表。</p> | |

| | |
|--|--------------|
| <p>■若手職員を対象とした SDGs 勉強会 [6月～]</p> | <p>地域政策課</p> |
| <p>6月から地域課題の解決に向けた取組を検討・実施する際のヒントを得る機会として、振興局職員や町職員の若手職員を中心に SDGs やウェルビーイング、ナッジの基礎知識や実践的に SDGs の取組を行う先進自治体の事例を学習する「SDGs 勉強会」を4回開催。</p> | |

| | |
|---|--------------|
| <p>■「ナナイロひだかサポーターの活動 [7月]</p> | <p>地域政策課</p> |
| <p>令和4年度から振興局職員を「ナナイロひだかサポーター」に任命し、副業活動や SNS を通じた地域の魅力発信を実施。取組3年目となる今年度の副業活動は活動地域と業種を拡大し、新たに新ひだか町と様似町で取組を始め軽種馬農家やミニトマト農家での作業にも従事。今年度は翌年3月まで副業活動を実施予定。</p> | |

| | |
|---|--------------|
| <p>■セコマ×Yogibo ヴェルサイユリゾートファームとの協働による「牧場見学のルール&マナー」の普及啓発 [7月～9月]</p> | <p>地域政策課</p> |
| <p>包括連携協定に基づく3者協働の取組として、管内のセイコーマート 26 店舗で Yogibo ヴェルサイユリゾートファームが保有する馬の写真を活用した「牧場見学のルール&マナー」のポスター掲示やパンフレットの配架により普及啓発を実施。</p> | |

| | |
|---|--------------|
| <p>■官民協働による地域公共交通の実証実験開始 [8月]</p> | <p>地域政策課</p> |
| <p>8月に日高町とサツドラホールディングス(株)が包括連携協定を締結。10月に振興局や交通事業者が参画する地域公共交通活性化協議会と連携しデマンド交通「すこバス」の試験運行を開始。</p> | |

| | |
|--|--------------|
| <p>■「サツドラ FES2024」への出展 [9月]</p> | <p>地域政策課</p> |
| <p>国内最大の陸域面積を誇る「日高山脈襟裳十勝国立公園」の誕生を広く PR するとともに地域の馬文化やアイヌ文化といった魅力を効果的に発信するため、9月につどーむ(札幌市)で体験ブースを出展。イベント全体の来場者は約 17,200 人(2日間合計)。</p> | |

～2024 年を振り返って～

| | |
|--|--------------|
| <p>■日高振興局地域おこし協力隊の任用【9月～】</p> | <p>地域政策課</p> |
| <p>振興局における広域での活動を通じて地域の方々とつながりを深め任期満了後の移住・定住を促進することを目的に振興局で地域おこし協力隊員を任用。 任用した地域おこし協力隊員は日高地域の魅力発信や移住・定住の促進などの業務に従事。</p> | |

| | |
|--|--------------|
| <p>■日高振興局版ノーカーデー【9月～10月】</p> | <p>地域政策課</p> |
| <p>地域住民の足の維持・確保が喫緊の課題となる中、近年は地球温暖化による気温の上昇により基幹産業への影響も現れており、こうした課題への解決に向けた取組の一つとして、通勤時における公共交通の利用を促進するとともに脱炭素型ライフスタイルへの転換を図る日高振興局版ノーカーデーの取組を9月20日から10月31日に実施。 通勤に適したバス時刻表の配付やオープンチャットを活用した啓発、推進強化日の設定などの取組により延べ697名の職員が参加。</p> | |

| | |
|---|--------------|
| <p>■第50回衆議院議員総選挙【10月】</p> | <p>地域政策課</p> |
| <p>衆議院が10月9日に解散したことに伴い、衆議院議員総選挙が10月15日に公示され、小選挙区（北海道第9区）においては3名が立候補し、10月27日に執行された。 日高管内の投票率については、小選挙区、比例代表ともに60.47%（前回66.38%）だった。</p> | |

| | |
|--|--------------|
| <p>■知事の地域訪問【11月】</p> | <p>地域政策課</p> |
| <p>鈴木知事が11月に管内を訪問し、7町の首長や地域を支える活動を展開する実践者と直接対話する「スクラムトーク」、地域の創意工夫ある取組を直接聞き広く発信する「なおみちカフェ」を実施。 「スクラムトーク」では、国立公園の指定や新冠ICの開通を契機とした地域の取組について意見交換を行い、「なおみちカフェ」では日本軽種馬協会静内種馬場、日高軽種馬共同育成公社を訪問し、日高の軽種馬産業を支える若者や外国人と懇談。</p> | |

| | |
|--|--------------|
| <p>■ナナイロひだか高校生応援プロジェクト【1月～12月】</p> | <p>地域政策課</p> |
| <p>郷土愛を育み、進学で日高を離れてもまた町に戻り活躍できる人材の育成・環流をめざして1月から「ナナイロひだか高校生応援プロジェクト」を始動。 ①有志による課外活動（静内高校、道央圏の大学生等） 3月に高校生から提案されたモデルコースについて、高校生が実際に周遊しながら検証・磨き上げを行い、12月に旅行代理店や広告代理店に対して提案。 ②総合的な探究の時間における学習（静内高校） 6月から静内高校の総合的な探究の時間において、振興局職員が20時間の授業を担当。12月には「SDGs」の視点を踏まえた地域課題の解決に向けた取組を高校生から振興局や新ひだか町長等へ提案。 ③規格外ミニトマトを活用したアイデアレシピコンテスト（静内農業高校） 静内農業高校と振興局等が共催し、フードロスの観点から「SDGs」への理解を深め、生徒の社会性や指導性の向上をめざして7月に開催。9月の選考会で各ホテル賞を受賞した4作品は、12月以降にホテルのレストランでメニュー化。</p> | |

～2024 年を振り返って～

| | |
|--|--------------|
| <p>■日高山脈襟裳国立公園の国立公園指定に向けた機運醸成のための取組 [5月～]</p> | <p>魅力発信室</p> |
| <p>ポストカードを作成し各町・管内主要施設へ配付するとともに、写真パネルを作成し振興局ロビーにおいて常設展示を開始。</p> <p>また、バナースタンド、スタンドポップや卓上のぼり等の啓発物資を作成し、振興局庁舎で掲示を始めたほか、各町や管内主要施設、包括連携協定締結企業等に配付。</p> | |

| | |
|--|--------------|
| <p>■日高山脈襟裳十勝国立公園の指定を記念した取組 [6月～]</p> | <p>魅力発信室</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> ・6月25日の国立公園指定日に各町長、関係者等が集まり新ひだか自然保護官事務所前（新ひだか町）で記念写真撮影等のイベントを開催。また、同日から管内各町において、懸垂幕等を掲示。 ・各町のおすすめスポットが書かれたボードを手にした7町長の写真を振興局公式 SNS や HP へ掲載するとともに振興局ロビーに展示。 ・「日高山脈襟裳十勝国立公園誕生記念」巡回パネル展を令和6年6月3日（月）～7月19日（金）まで管内7町で開催。 | |

| | |
|--|--------------|
| <p>■日高山脈襟裳十勝国立公園指定記念式典 [7月]</p> | <p>魅力発信室</p> |
| <p>新ひだか町総合町民センターはまなすにて、日高山脈襟裳十勝国立公園指定の記念式典が行われ、伊藤環境大臣、北海道知事、日高・十勝管内の13市町村長などが出席。</p> | |

| | |
|---|--------------|
| <p>■国立公園自然体験会 Feel The HIDAKA [9月～]</p> | <p>魅力発信室</p> |
| <p>主に小学生等を対象とした自然体験会を管内全7町で開催。多くの子どもたちが国立公園の価値を体感した。</p> <p>9/28 百人浜を歩いてみよう（えりも町）</p> <p>10/5 アポイ岳自然散策（様似町） ※悪天候により中止</p> <p>10/13 二風谷コタンでアイヌ文化・自然体験（平取町）</p> <p>10/20 オロマップキャンプ場で火起こし体験（浦河町）</p> <p>10/26 二つの滝を巡るハイキング（日高町）</p> <p>11/9 ビーチコーミング（新ひだか町）</p> <p>1月 新冠町で開催予定</p> | |

～2024 年を振り返って～

| ■日高山脈襟裳十勝国立公園指定記念シンポジウムの開催 [10 月] | 魅力発信室 |
|---|-------|
| <p>「保護と利用の両立」をメインテーマに浦河町総合文化会館でシンポジウムを開催。多くの住民が国立公園の可能性やその価値を守っていくための取組などについての議論を聴講した。</p> <p><オープニングトーク></p> <p>“ひだかの魅力”～浦高写真部による写真紹介！</p> <p><基調講演 ></p> <p>国立公園におけるアドベンチャートラベルの可能性</p> <p>●国土交通省北海道運輸局観光部 浅野 辰弥</p> <p><パネルディスカッション></p> <p>日高山脈襟裳十勝国立公園の比類なき価値を守るために</p> <p>コーディネーター</p> <p>●自然考房 Nature Designing_代表 鈴木 宏紀</p> <p>パネリスト</p> <p>●日高山脈博物館学芸員 東 豊土</p> <p>●新ひだか自然保護官事務所レンジャー 草留 大岳</p> <p>●国土交通省北海道運輸局観光部 佐々木 崇史</p> <p>●一般財団法人_自然公園財団阿寒湖支部 野竿 陽平</p> <p>司会 新ひだか町移住コンシェルジュ 市川 福子</p> <p>★同時開催 北海道浦河高等学校写真部パネル展、十勝から見た日高山脈コーナー</p> | |

| ■(室蘭建設管理部)トマチャナイ川砂防事業の完成 [3月] | 危機対策室 |
|---|-------|
| <p>トマチャナイ川は、二級河川新冠川に合流する普通河川で、平成 18 年 8 月の豪雨出水により新冠町道が被災したほか、河道内に不安定土砂が堆積した。次期出水で下流域に土砂流出が懸念されることから、平成 22 年より砂防事業に着手。人家、消防署、避難所、駐在所、町道、農地を土砂災害から守るため、砂防堰堤工、床固工及び溪流保全工の整備を行い、14 年を経て 3 月に完成した。</p> | |

| ■令和 6 年度北海道災害対策本部指揮室運営訓練 [5月] | 危機対策室 |
|--|-------|
| <p>千島海溝沿いの巨大地震に伴う大津波を想定した災害対策本部指揮室運営訓練を陸上自衛隊と共催で本庁と 5 月 21 日に実施した。</p> | |

| ■北海道地域防災マスターの認定 [5月、8月] | 危機対策室 |
|--|-------|
| <p>一般向け認定・フォローアップ研修を日高町（5 月 21 日）、新ひだか町（5 月 22 日）、及び浦河町（5 月 23 日）で開催するとともに、高校生向け認定・フォローアップ研修会を浦河高校（8 月 20 日）で開催し、地域防災活動のリーダーとなる北海道地域防災マスターを新たに 26 名（うち高校生 11 名）認定した。</p> | |

～2024 年を振り返って～

| | |
|--|--------------|
| <p>■令和6年の防災対応〔7月〕</p> | <p>危機対策室</p> |
| <p>大雨・洪水警報や水防警報の発表に伴う防災対応は8回（7月1回、8月5回、10月2回）と比較的少なかったが、7月29日の大雨では浦河町・えりも町で避難所が開設されるなど、あわや氾濫となる大きな出水となった。また、8月31日の大雨では、日高町水道施設が貯水池の汚濁により取水不能となる等、地域住民への影響も大きかった。</p> <p>この他、油漏れが6件、山岳遭難事案も7件発生する等、防災対応が多岐にわたる1年であった。</p> | |

| | |
|---|--------------|
| <p>■令和6年度日高振興局管内一斉防災訓練の実施〔10月〕</p> | <p>危機対策室</p> |
| <p>災害初動時における課題を抽出し対応策を検討するため、北海道日高振興局、日高振興局管内7町及び防災関係機関の共同により、大規模な地震・津波災害を想定した防災訓練を実施した。</p> <p>防災関係機関による情報伝達訓練の他、地域住民が参加する避難訓練や災害図上訓練等を実施した。</p> | |

| | |
|--|--------------|
| <p>■北海道医療計画（地域推進方針）等の策定〔9月〕</p> | <p>保健行政室</p> |
| <p>医療法第30条の4に基づき、6年ごとに北海道の医療提供体制の確保を図るための計画として、令和6年を始期とする北海道医療計画が策定されたことを受け、第二次医療圏ごとに策定している「北海道医療計画〔地域推進方針〕」について、9月に策定を完了。</p> <p>また、北海道健康増進計画も同様に、第二次医療圏ごとに策定している日高圏域健康づくり事業行動計画について、9月に策定完了。</p> | |

| | |
|--|--------------|
| <p>■障がいへの理解促進に向けた出前講座の開催について</p> | <p>社会福祉課</p> |
| <p>障がいがある方も障がいがない方も共に生活できる共生社会の実現のため、「日高圏域障がい者が暮らしやすい地域づくり委員会」の取組の一つとして、地域の方々を対象に出前講座を開催。</p> <p>◎ 手話出前講座</p> <p>聴覚障がい者を講師に迎え、手話通訳者の協力を得ながら、学生を対象に手話出前講座を開催し、聴覚障がい者に対する理解促進、手話の普及啓発を図った。</p> <p>開催場所：浦河赤十字看護専門学校、えりも高等学校、静内高等学校、浦河高等学校</p> | |

| | |
|---|--------------|
| <p>■日高山脈襟裳十勝国立公園指定〔6月〕</p> | <p>環境生活課</p> |
| <p>令和6年6月25日、日高山脈襟裳国定公園が新たに日高山脈襟裳十勝国立公園として指定され、北海道では7番目、全国では35番目となる、陸域面積国内最大の国立公園が誕生した。</p> | |

～2024 年を振り返って～

| ■管内の農業生産状況 [4月～] | 農務課 |
|--|-----|
| <p>令和6年の日高管内における気象経過は7月下旬と8月下旬に一時的な大雨に見舞われたものの、概ね好天に恵まれ、気温・日照時間共に平年を上回る推移となった。このため作物全般にわたって、生育及び各種農作業も順調に進んだ。</p> <p>水稲は、春先から好天が続き、7月下旬から8月上旬にかけて一時日照不足となったものの、以降は高温傾向が続いたことにより、生育は前進した。作柄は北海道農政事務所の発表（10月25日現在）で「102」のやや良となっている。</p> <p>園芸作物は、高温が8月の一時期に留まったため、安定した生産量を維持。高値にも支えられ、販売額も昨年より増加し、JAびらとりのトマトが41億円、JAひだが東のいちごが4億円、JAしずないのミニトマトは8億円、JAにいかっぶのピーマンは14億円を突破する見込み。JAみついしの花きは、昨年に続く高温により一時的に生育不良が見られたものの、概ね順調に出荷でき、昨年を上回る出荷量となり、8億円を見込む。（販売額は農務課調べ）</p> | |

| ■ホッカイドウ競馬の発売額 [4月～11月] | 農務課 |
|--|-----|
| <p>令和6年のホッカイドウ競馬は、4月17日から11月7日までの84日間で開催された。賞金諸手当の拡充や公式YouTubeを活用した情報発信、競馬新聞への予想情報の掲載拡大などにより、インターネット発売が好調だったことから、5年連続で発売額が500億円の大台を確保したことに加え、過去最高の543億6,567万円を記録した。</p> <p>また、1日あたりの平均発売額も過去最高の6億4,721万円を記録した。</p> | |

| ■軽種馬北海道市場の売却総額 [5月～10月] | 農務課 |
|---|-----|
| <p>軽種馬のセリ市である北海道市場では、計5回15日間の市場が開催され、売却総額は過去最高の188億円となり、6年連続で過去最高記録を更新した。売却率は、全ての1歳馬セールで80%を超え、トータルでは82.1%となった。</p> | |

| ■牛乳・乳製品消費拡大の取組 [7月] | 農務課 |
|---|-----|
| <p>生乳需給を支援する取組として、7月24日、浦河町内の小学校の終業式で、給食がなくなる夏休み期間にも積極的に牛乳・乳製品を消費してもらうよう児童・先生向けにPRを実施した。児童らに「毎日の給食でとても多くの牛乳が飲まれていること」や「牛は牛乳を搾らないと乳房炎という病気になってしまうこと」、「牛乳はカルシウムやタンパク質、ビタミンなど体が健康に育つための栄養がたくさん含まれていること」などを紹介するとともに、日高乳業の牛乳を配布し、消費拡大を呼びかけた。</p> | |

| ■知って！買って！食べて！職員全員ブランド米広報担当化プロジェクト [10月] | 農務課 |
|--|-----|
| <p>振興局職員自らが率先し、管内農協で販売しているブランド米の消費拡大に積極的に取り組むため、職員を対象とした局内販売「知って！買って！食べて！職員全員ブランド米広報担当化プロジェクト」を管内4農協4銘柄（JAびらとり：ニシパの恋人、JAしずない：万馬券、JAみついし：トキノミノル、JAひだか東：アポイ米）で実施した。</p> <p>局内販売の実施に際し、4農協を代表してJAしずない農協に来局いただき、「万馬券」の新米の納品セレモニーと試食を行った。</p> | |

～2024 年を振り返って～

| | |
|--|------------|
| <p>■JBC 競走 [11 月]</p> | <p>農務課</p> |
| <p>11 月 4 日、JBC 競走が門別競馬場と佐賀競馬場で開催された。 門別競馬場での JBC 競走開催は 5 回目で、当日の門別競馬場の入場者数は 3,028 人を記録した。メインレースの JBC 2 歳優駿の売上は 8 億 8,416 万円、一日の発売額は 15 億 1,581 万円となった。 また、JBC 競走 4 レース全ての優勝馬が日高管内の生産馬となり、強い馬づくりの成果が現れた。</p> | |

| | |
|---|--------------|
| <p>■米づくり体験学習の開催 [5 月～11 月]</p> | <p>農村振興課</p> |
| <p>例年実施している「米づくり体験学習」も春の田植えから秋の稲刈り・精米作業と全て無事開催し、浦河町内の浦河東部小学校・荻伏小学校（小学 5 年生を対象）での合同で行われた。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 5 月 22 日：田植え （参加者 55 名【うち振興局 17 名うち「個」育て支援 6 名】） ・ 8 月 26 日：生長観察 （参加者 31 名【うち振興局 4 名】） ・ 9 月 12 日：稲刈り （参加者 49 名【うち振興局 18 名うち「個」育て支援 7 名】） ・ 10 月 1 日：粳すり・精米 （参加者 27 名【うち振興局 4 名】） ・ 11 月 27 日：収穫祭 （荻伏小学校のみ参加者 20 名【うち振興局 1 名】） </p> | |

| | |
|--|------------|
| <p>■管内の漁業生産～主要魚種の不漁や赤潮被害の長期化～</p> | <p>水産課</p> |
| <p>令和 3 年 9 月に発生した赤潮の影響により真ツブやタコの漁獲が未だ回復していない中、コンブ漁が平年並みに採取ができたものの、秋サケは記録的な不漁となるなど、管内水産業は非常に厳しい状況が続いている。</p> | |

| | |
|--|------------|
| <p>■日高の豊かな海の幸フェスの開催について</p> | <p>水産課</p> |
| <p>主要魚種の不漁など厳しい状況にある管内水産業を応援し地域を盛り上げる取組として、昨年に引き続き「日高の豊かな海の幸フェス」を開催した。 第 9 弾 Hif-Tube 浜に関する「人」「旬」「味」「漁」などの情報を動画チャンネルで発信 第 10 弾 日高の海の幸ランチフェア 2024 日高のブリとコンブを食材とした料理を三笠高校のレストランで提供 第 11 弾 HiFA 2024～HIDAKA-BLUE お魚ヒーローズ～ 日高の水産物をヒーローとして紹介し Web による人気投票を行い、上位 5 体を「HIDAKA-BLUE お魚ヒーローズ」として HP で発表</p> | |

| | |
|---|------------|
| <p>■コンブ漁業生産の減少</p> | <p>水産課</p> |
| <p>令和 5 年秋以降、高水温や時化等の要因により、コンブが大量に抜けたため、令和 6 年の漁獲に減少が見られ、管内漁協専務参事会において、今後の対応について検討を行うこととしている。 また、コンブの漁業生産減少は全道で見られており、今年 8 月に水産林務部において、試験研究機関や水産関係団体を構成員とした「コンブ生産安定対策検討会議」を立ち上げ、コンブの生産安定に向けた協議・検討が進められている。</p> | |

～2024 年を振り返って～

| | |
|--|----------------|
| <p>■「新規高等学校卒業生企業説明会」の開催【6月】</p> | <p>商工労働観光課</p> |
| <p>企業活動や仕事に対する理解を深めるとともに、職業選択の視野を広げ地元就職の促進・定着を図るため、令和7年3月高等学校卒業予定の生徒を対象に、管内を中心とした企業による企業説明会を対面及びオンラインで開催。15企業等の出展と、日高管内の高校6校111名が参加した。</p> | |
| <p>■札幌圏と首都圏で「ひだかフェア」を開催【6～7月、11～12月】</p> | <p>商工労働観光課</p> |
| <p>日高製品の消費拡大と知名度向上を図るため、道のアンテナショップ「北海道どさんこプラザ札幌店」（6月下旬から7月上旬）と「北海道どさんこプラザ有楽町店」（11月下旬から12月上旬）で「ひだかフェア」を開催した。</p> | |
| <p>■国内外での観光プロモーション【9月ほか】</p> | <p>商工労働観光課</p> |
| <p>観光知名度向上及び誘客促進を図るため、東京都で開催された旅行博（ツーリズム EXPO ジャパン 2024）をはじめとした道内外でのイベントに参加し、メディア・旅行会社等に商品造成の働きかけを行い、旅行商品の造成につなげるとともに、一般旅行者に対してひだか地域の魅力を PR した。</p> | |
| <p>■「日高味覚フェア」の開催【11月】</p> | <p>商工労働観光課</p> |
| <p>日高製品の知名度向上や消費拡大に向け、札幌市内のホテルで日高製品を使ったメニューを開発し、そのメニューをホテルで提供する「日高味覚フェア」を開催した。コース料理全6品を開発し、期間中180食を提供した。</p> | |
| <p>■「オールひだか来てウマイ!観光物産展」の開催（11月）及びプロモーション動画の作成</p> | <p>商工労働観光課</p> |
| <p>日高自動車道「新冠 IC(仮)」開通を見据え、札幌圏からより近くなるひだか地域の魅力を PR し、誘客促進を図るため、町、民間団体、日高振興局が参画する優駿日高道!!オールひだか魅力発信協議会と各町で構成する優駿日高道!!オールひだか魅力発信キャンペーン町実行委員会と連携して、札幌駅前通地下歩行空間で観光物産展を開催した。 また、日高自動車道の延伸によるアクセス向上を契機とした日高管内の魅力を訴求する観光プロモーション動画を作成。</p> | |
| <p>■道民ひとり1本植樹・育樹運動【5月、10月】</p> | <p>林務課</p> |
| <p>全道で5年間に500万本の植樹・育樹を目指す「道民ひとり1本植樹・育樹運動」が展開され、本運動の推進に向けた取組の一つである、教育・保育機関を対象とした植樹・育樹（体験）、環境教育（知識習得）による一体的な取組を支援する「道民ひとり1本植樹・育樹運動推進事業」を実施した。 5月2日（木） 平取町木育推進事業＜平取中学校植樹体験教室＞ 【720本植樹】 10月11日（金） 様似町立幼児センター木育推進事業 【52本植樹】</p> | |

～2024 年を振り返って～

| ■林業担い手確保に向けた取組 | 林務課 |
|---|-----|
| <p>日高管内における林業担い手の育成・確保を進めるため、「日高地域林業担い手確保推進協議会（事務局：林務課）」が、管内の林業関係者と協力しながら各種活動を実施した。</p> <p>○管内普通高校等への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日高高等学校インターンシップ（日高高校）（森林室・林務課：9月） ・環境教育「百人浜に学ぶ（えりも高校）」（森林室・林務課：9月） ・「地域を知る視察（静内農業高校）」（日高中部森林組合・新ひだか町・農務課・農村振興課・水産課・森林室・林務課：10月） <p>○北森カレッジカリキュラムへの協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期就業実践研修（沙流川森林組合・王子フォレストリー（株）：5月、（株）三浦興産：6月、（有）名須川林業：8月） ・北森カレッジ地域見学実習 日高中部森林組合・（有）高野林業：10月 <p>○就業情報等の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元産業・企業魅力発見フェア（主催 商工労働観光課）（日高中部森林組合、（株）三浦興産、森林室、林務課：11月） | |

| ■「日高地域住宅セミナー2024」[11月] | 建設指導課 |
|---|-------|
| <p>11月20日（水）に新ひだか町コミュニティセンターにおいて、令和7年4月施行予定の建築基準法改正等の内容や、省エネ住宅へのさまざまな支援等について学ぶため、「日高地域住宅セミナー2024」を開催した。</p> <p>建築技術者のほか、行政職員など35名が参加した。</p> | |

| ■先端技術を活用した UAV(ドローン)研修会の実施 [10月] | 森林室 |
|--|-----|
| <p>スマート林業（林業での ICT 等の先端技術活用）による効率化・省力化を推進するため、10月に、管内で初めて UAV(ドローン) 操作、データ処理の研修会を実施した。</p> <p>先端技術を先行導入している国有林(日高南部森林管理署)と連携し、UAV(ドローン)での森林の航空測量の操作の実習と、撮影データの PC 処理方法の指導を、市町村や森林組合職員を対象に行った。</p> <p>従来は山林内をくまなく歩き測量をしていたが、UAV の活用により、山林内を歩くことなく、現況把握や測量ができ、PC 上で森林整備事業の申請作業(測量、図面作成)が出来るため作業時間の大幅な軽減が見込まれる。</p> | |

| ■食肉の輸出量の増加 | 日高食肉衛生検査所 |
|--|-----------|
| <p>2023 年に新設された輸出専用食肉処理施設の稼働により、と畜場における 1 日当たりの処理可能頭数が 200 頭増え、2024 年の総輸出件数は昨年の 1019 件に対し、2024 年 11 月末時点で 1113 件に増加した。</p> | |

～2024 年を振り返って～

| | |
|---|--------------|
| <p>■S-T EAM教育推進事業の成果発表会「探究チャレンジ・ジャパン」への参加 [2月]</p> | <p>日高教育局</p> |
| <p>2月に、探究活動の成果を新たな探究に結び付け、生涯にわたって能動的に学び続ける資質・能力を育成することを目的とした全道の成果発表会「探究チャレンジ・ジャパン」に、日高管内及び胆振管内の代表2校のうち1校として静内農業高校が参加した。</p> <p>静内農業高校は「3Dプリンターで作成した樹脂プレートによる裂蹄処置の検証」が高く評価され、北海道知事賞（第二席）を受賞した。</p> | |

| | |
|---|--------------|
| <p>■平取高校における学校設定科目「アイヌ文化」の開設 [4月～]</p> | <p>日高教育局</p> |
| <p>今年度より、「ダイバーシティ（多様性）&インクルージョン（共生・協働）を学ぶ高校」の理念を掲げ、その特色の一つとして、学校設定科目「アイヌ文化」を開設した。平取町の有形無形のアイヌ文化を地域の教育資源として教育課程に系統的・総合的に取り入れており、学校の魅力化を図る科目となっている。</p> | |

| | |
|---|--------------|
| <p>■静内農業高校におけるマイスター・ハイスクール普及促進事業「北の専門高校ONE-T EAMプロジェクト事業」 [4月～]</p> | <p>日高教育局</p> |
| <p>令和3年度から令和5年度に実施したマイスター・ハイスクール事業において、静内農業高校が構築した職業人材育成システムを、道内の専門高校に広く展開するとともに、産業界と専門高校の持続可能な連携の充実を図ることを目的として実施する事業であり、「静農コンソーシアム」の構築など、他校や地域の関係機関と連携した取組を実施している。</p> | |

| | |
|---|--------------|
| <p>■富川高校の「第10回世界水フォーラム」、「OECD Education2030 プロジェクト無限大 生徒教師サミット」への参加 [5月、12月]</p> | <p>日高教育局</p> |
| <p>昨年度に「地域自律管理型水道維持支援」に関する調査研究で、「第25回日本水大賞」において「厚生労働大臣賞」を受賞したことを契機に、今年5月にはインドネシア・バリ島で行われた「第10回世界水フォーラム」に招待され、取組を発表した。また、12月にはフランス・パリのOECD本部で開催された「OECD Education2030 プロジェクト無限大 生徒教師サミット」に招待され、オーストラリアの高校と「学校のウェルビーイング」をテーマに共創し、発表するなど、海外において活躍した。</p> | |

| | |
|--|--------------|
| <p>■令和6年度「絆づくりメッセージコンクール～いじめやネットトラブルの根絶を目指して～」の開催 [6月～11月]</p> | <p>日高教育局</p> |
| <p>いじめやネットトラブルの根絶を目指し、思いやりをもって人と接する社会の実現に向けた意識の向上を図ることを目的としたコンクールを開催。</p> <p>管内の児童生徒から約500点の応募があり、静内農業高等学校生徒の作品がポスター・メッセージ部門で、日高町立富川小学校児童の作品がことば・メッセージ部門で、それぞれ管内最優秀賞に選出され、さらに全道優秀賞を受賞した。</p> | |

| | |
|--|--------------|
| <p>■静内農業高校生産馬の売却 [8月]</p> | <p>日高教育局</p> |
| <p>8月21日、日高軽種馬農業協同組合北海道市場で開催されたサマーセールに北海道静内農業高等学校生産馬「マドリガルスコア2023」と「ナリタトップスター2023」が上場され、それぞれ150万円、240万円で落札された。</p> | |

～2024 年を振り返って～

| | |
|---|--------------|
| <p>■令和6年度全国学力・学習状況調査の管内結果 [11月]</p> | <p>日高教育局</p> |
| <p>小学6年生及び中学3年生を対象に毎年実施される全国学力・学習状況調査において、中学校において、国語・数学ともに、小学校第6学年だったときに比べると全国平均との差が縮まるなど、同一集団の経年比較では改善傾向が見られる。</p> <p>このほか、「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて分かるまで教えてくれていると思う」と答えた児童生徒の割合が全国及び全道を上回るなどの成果も見られた。</p> | |

| | |
|---|--------------|
| <p>■学校卒業後における障害者の学びの支援推進事業「うまとふれあいほっこりタイム」の開催 [11月]</p> | <p>日高教育局</p> |
| <p>「学校卒業後における障害者の学びの支援推進事業」の一環として、全ての人が共に学ぶことのできる環境作りを目的に、管内の住民を対象としてライディングヒルズ静内を会場に乗馬体験教室を実施。</p> <p>障がいのあるなしに関わらず安心して活動できるように、支援者は事前に「スタートアップ支援学習会」において適切な支援の方法を学んだ。事業当日は大人子ども合わせて9名が参加し乗馬や馬の世話を体験した。</p> | |

| | |
|---|--------------|
| <p>■管内高校生の各種大会等での活躍 [11月]</p> | <p>日高教育局</p> |
| <p>【静内高校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第33回国際高校生選抜書展（毎日新聞社、毎日書道会主催）[11月] 『北海道地区団体準優勝』 <p>【静内農業高校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花フェスタ2024札幌 第15回北海道農業高校生ガーデニングコンテスト（花フェスタ札幌実行委員会主催）[6月] 『大賞（北海道知事賞）』 ・第12回高校生チャレンジグルメコンテスト（高校生チャレンジグルメコンテスト in HOKKAIDO 実行委員会主催）[10月] 『チャレンジグルメ大賞（北海道知事賞）及びHTB賞』 <p>等多数の大会で表彰</p> <p>【浦河高校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第58回全国日本高等学校馬術競技大会（全日本高等学校馬術連盟主催）[8月] 『団体戦 準優勝』 <p>【日高高校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飲酒運運転根絶！高校生メッセージコンクール（北海道交通安全推進委員会主催）[7～10月] 『北海道知事賞』 | |

～2025年に予想される主な動き～

| | |
|---|-------|
| ■第27回参議院議員通常選挙 [7月] | 地域政策課 |
| 参議院議員の任期満了に伴い、任期満了前30日以内に参議院議員通常選挙が執行される（任期満了日：令和7年（2025年）7月28日）。 | |

| | | |
|--|----------|-------------------|
| ■日高管内の町長選挙 | 地域政策課 | |
| 町長の任期満了に伴い、管内の4町においてそれぞれの任期満了日前30日以内に町長選挙が執行される予定。 | | |
| 町名 | 町長（期数） | 任期満了日 |
| 新冠町 | 鳴海 修司（2） | 令和7年（2025年）4月30日 |
| えりも町 | 大西 正紀（2） | 令和7年（2025年）5月31日 |
| 様似町 | 荒木 輝明（1） | 令和7年（2025年）10月10日 |
| 浦河町 | 池田 拓（4） | 令和7年（2025年）12月23日 |

| | |
|--|-------|
| ■ナナイロひだか高校生応援プロジェクト [調整中] | 地域政策課 |
| 郷土愛を育み、進学で日高を離れてもまた町に戻り活躍できる人材の育成・環流を目指し、令和6年度は静内高校2学年の探求の時間の中で、SDGsを切り口に、地域の身近な課題を抽出、自分たちに出来る取組を提案するワークショップを開催した。 | |
| これを踏まえ、令和7年度には提案されたアイデアについて、振興局事業への反映を検討。（※） | |
| ※学校側と調整中 | |

| | |
|---|-------|
| ■防災訓練の実施 [5月、10月] | 危機対策室 |
| 【日高振興局指揮室設置・運営訓練(5月)】 | |
| 大雨災害発生を想定し、日高振興局に指揮室を設置するとともに、北海道防災情報共有SYSにより管内7町との情報伝達訓練を実施する。 | |
| 【日高振興局管内一斉防災訓練(10月)】 | |
| 巨大地震の発生を想定し、管内7町その他、自衛隊、海上保安署、警察、消防といった防災関係機関と連携して防災訓練（避難訓練、救助訓練、情報伝達訓練等）を実施する。 | |

| | |
|--|-------|
| ■防災教育の推進 [6月、8月] | 危機対策室 |
| 【北海道地域防災マスターの認定・フォローアップ研修(6月、8月)】 | |
| 地域防災活動のリーダーを認定・育成するため、研修会を開催する。 | |
| 一般向け(6月)：平取町、新冠町、様似町 | |
| 高校生向け(8月)：浦河高校 | |
| 【一日防災学校(時期未定)】 | |
| 管内の中学校や高校で実施している一日防災学校の取組として、「北海道版避難所運営ゲーム(Doはぐ)」を行い、防災教育の取組を支援する。 | |

～2025年に予想される主な動き～

| | |
|--|--------------|
| <p>■日高振興局管内における巨大地震への取組【時期未定】</p> | <p>危機対策室</p> |
| <p>日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震は、2021年1月1日から30年以内に発生する確率が70～80%に上ると想定され、日高管内でも大きな人的被害が想定されている。</p> <p>こうした状況の中、管内各町では様々な取組が進められており、令和7年度から本格的に工事等が進められる予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津波避難タワーを整備（新冠町） ・高台に避難施設を整備（様似町・えりも町・新ひだか町） ・救命艇を整備（様似町） | |

| | |
|---|--------------|
| <p>■障がいへの理解促進に向けた出前講座の開催について【時期未定】</p> | <p>社会福祉課</p> |
| <p>2024年に引き続き、障がいがある方も障がいがない方も共に生活できる共生社会の実現のため、「日高圏域障がい者が暮らしやすい地域づくり委員会」の取組の一つとして、地域の方々を対象に開催する予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 手話出前講座 聴覚障がい者を講師に迎え、手話通訳者の協力を得ながら、学生を対象に手話出前講座を開催し、聴覚障がい者に対する理解促進、手話の普及啓発を図る。 開催時期未定。 ◎ 障がい者（児）への理解促進に関する出前講座 社会の障がいに対する理解を促進していくこと、福祉業務への興味を持ってもらえるきっかけづくりを目的として 出前講座を開催する。 開催時期未定。 | |

| | |
|---|--------------|
| <p>■日高山脈襟裳十勝国立公園指定1周年記念シンポジウムの開催</p> | <p>環境生活課</p> |
| <p>日高山脈襟裳十勝国立公園指定1周年を記念してシンポジウムを開催する。</p> <p>指定後1周年のタイミングを捉えて、改めて、日高山脈襟裳十勝国立公園の魅力を感じられる機会とする。</p> | |

| | |
|--|------------|
| <p>■JBC競走【11月】</p> | <p>農務課</p> |
| <p>2025年のJBC競走は、11月3日(祝・月)に開催され、JBCクラシック(1800m)、JBCスプリント(1000m)、JBCレディスクラシック(1800m)は船橋競馬場、JBC2歳優駿(1800m)は門別競馬場で行われる。</p> <p>4レース全てを日高管内の生産馬が制した2024年と同様に、2025年も管内生産馬の活躍が期待される。</p> | |

| | |
|---|--------------|
| <p>■米づくり体験学習の開催</p> | <p>農村振興課</p> |
| <p>令和7年度も「米づくり体験学習」の支援活動を継続予定。また、当支援活動は、日高振興局「個」育て支援体験研修事業にも春の田植え、秋の稲刈りを登録し、新規採用者等の参加を募る予定。</p> | |

| | |
|--|----------------|
| <p>■新規高等学校卒業者企業説明会の開催【6月】</p> | <p>商工労働観光課</p> |
| <p>令和8年3月の高等学校卒業者を対象に、生徒と企業の相互理解を深めることを目的として、ハローワーク浦河及び日高教育局との共催により企業説明会を開催する。</p> | |

～2025年に予想される主な動き～

| | |
|---|----------------|
| <p>■札幌圏での「ひだかフェア」の開催 [時期未定]</p> | <p>商工労働観光課</p> |
| <p>日高管内の「食」の魅力を発信するため、札幌圏で物産展を開催。札幌圏の消費者及び観光客に「ひだか産品」をPRする。</p> | |

| | |
|--|----------------|
| <p>■札幌圏での「グルメフェア」の開催 [時期未定]</p> | <p>商工労働観光課</p> |
| <p>ひだか産品の消費拡大を図るため札幌圏のホテルで「グルメフェア」を開催。グルメフェアで提供されたレシピをSNSで公開し、消費喚起とブランドの向上を図る。</p> | |

| | |
|---|----------------|
| <p>■日高自動車道利用促進に係るプロモーション [時期未定]</p> | <p>商工労働観光課</p> |
| <p>日高自動車道「新冠 IC(仮)」の2025年度開通に向け、札幌圏からより近くなるひだか地域の魅力をPRし、誘客促進を図るため、町、民間団体、日高振興局が参画する優駿日高道！！オールひだか魅力発信協議会が、札幌圏において日高自動車道利用促進PRイベントを開催するなどのプロモーション活動を行う。</p> | |

| | |
|---|------------------|
| <p>■と畜頭数の増加および食肉の輸出量増加 [時期未定]</p> | <p>日高食肉衛生検査所</p> |
| <p>畜処理許可頭数の変更および令和5年に新設された輸出専用食肉処理施設の稼働により、と畜場における1日当たりの処理可能頭数が200頭増えたことから、輸出量の更なる増加が見込まれる。</p> | |

| | |
|--|--------------|
| <p>■S-TEAM 教育推進事業令和6年度「探究チャレンジ・アジア」の開催 [2月]</p> | <p>日高教育局</p> |
| <p>日高管内及び胆振管内の道立高校生を対象に、探究活動の成果を新たな探究に結び付け、生涯にわたって能動的に学び続ける資質・能力を育成することを目的とした発表会を胆振・日高管内合同で12月18日(水)にオンラインで開催し、発表における評価点が高い上位2校については、日高管内及び胆振管内の代表として「探究チャレンジ・アジア」(全道成果発表会)へ派遣される。</p> | |

| | |
|---|--------------|
| <p>■令和7年度全国学力・学習状況調査の実施 [4月]</p> | <p>日高教育局</p> |
| <p>小学6年生及び中学3年生を対象に毎年実施される全国学力・学習状況調査について、令和7年度は、4月17日に国語・算数(数学)・理科の3教科で実施の予定。なお、中学校の理科については、生徒が一人一台端末を用いて回答する。</p> | |